



地域未来牽引企業



株式会社イチカワ本社（東京都羽村市）



株式会社イチカワは1963年に創業。東京都羽村市に本社を置きトランスをはじめ電子機器、産業用・交通系の制御装置・制御ユニットを製造する企業。約60年の歴史を持ち、近年では経済産業省の「地域未来牽引企業」や中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定され、また今年の11月には「東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞」の大賞を受賞されました。品質の高さを武器に顧客との信頼関係を構築し、事業範囲の拡大とともに海外も含め開発拠点を広げております。今回は今年5月に代表取締役副社長に就任されました市川敦士様にお話をお伺い致しました。



株式会社イチカワ		代表取締役社長 市川 博士	
本社所在地	東京都羽村市神明台4-8-39		
従業員	207名	創立	1963年10月1日
ホームページ	https://www.ichikawa.co.jp/		

❖ TOPICS ❖

・ 会員企業 ご紹介 -----	P 1～P 2
株式会社イチカワ 代表取締役副社長 市川敦士様 インタビュー	
・ 表彰・認定・周年に関する報告 -----	P 3
会員企業の表彰、認定、周年などの報告(株式会社イチカワ様、株式会社ユニテックス様、株式会社オータマ様)	
・ 開催したイベントに関する報告 -----	P 4～P 8
協会が開催・後援・参加したイベントやセミナーの報告	
・ 今後開催予定のイベント・セミナーのお知らせ -----	P 9～P 10
協会が主催、または参加するイベントやセミナーについてお知らせ	
・ 協会からのお知らせ・広告他 -----	P 11～P12
協会からのお知らせ・新入会員のご紹介他	
・ 広告・PR -----	P 13～P16
協会・会員企業からの広告&PR	



株式会社イチカワ

代表取締役副社長 市川 敦士様

◆電線販売の営業マンが製造業を創業◆

株式会社イチカワは、創業者である父、市川昭男氏が創業しました。父は電線メーカーの営業所長だった時に、取引先である某電気メーカーに電線を納入しつつ、電線を大量に取り扱うトランス技術に関する設計や製造に関する知識を習得しました。当時不況の影響から、取引先である電気メーカーへの納入を停止し撤退することになったが、それまで信頼して頂いた取引先に背を向けるようなことはできないとの思いから、1963年(昭和38年)10月、東京都小平市に市川電機株式会社として創業しました。



創業時の市川電機株式会社：1963年

◆新たな業務にチャレンジ & 製造拠点を拡大◆

創業から3年後の1966年(昭和41年)には大手メーカーとの取引先が増えたこともあり群馬工場を開設。1980年代には仕事量も全体的に多く、またトランス以外の仕事にも取り組み、基板や電子機器、制御装置の組み立てなどの事業を立ち上げてきました。1983年には手狭になった小平市の本社工場を羽村市へ移転、その後1990年には群馬工場を増築し、当時内部で製造していたトランス製造は外部委託し、鉄道車両用インバータ制御装置の製造を開始し、1998年には制御盤の組み立て工場として瑞穂工場を開設致しました。



群馬工場（開設時）：1966年

トランスの製造技術を切っ掛けに電子機器や鉄道用制御ユニットの組み立てなど事業枠を広げてきました。



群馬工場（増改築）：1990年

◆品質と技術の高さを武器に顧客の信頼を獲得(海外へも展開)◆

2001年に現代表取締役社長（博士氏）が就任し、会社の方針として「品質」について本格的な取り組みを始めました。某電気メーカーOBの方にご協力頂き徹底的に品質強化を行いました。

この時期には海外での製造について検討をはじめ、1999年には韓国、併せて中国(上海)についても製造拠点の開拓など開始。製造については品質を確保するため、現地に丸投げではなく、現地に直接入り、現地メーカーに直接指導し、現地から調達するという流れ（海外製の品質の高い製品を日本に輸入）を確立し、その後は現地で製造した製品を現地で販売する（現地生産の品質の高い製品を海外で販売）形にも展開。この二つの流れができたのは、当社が長年「品質」について取り組んできたことから軌道に載せられたと考えています。



瑞穂工場：1998年

◆自立・自走組織を目指して人財・組織力の強化を継続◆

2000年代から品質の取り組みを始めた同時期に「品質マネジメントレビュー」という制度を社内で開発し運用しています。これは会社の経営計画や経営方針から各部門毎の目標値を設定し、毎月進捗など予実管理（改善活動）を実施しています。管理項目には品質に関する項目をはじめ売上などの業績に関わる数値も組み込まれています。この活動を通し、各部門自らが予実管理を行うことでグループや部門の一体感が生まれ、またアクションについては自ら考え出す必要があることから人財育成、組織力の強化につながっていると思っております。

◆今までの製造・品質管理のノウハウを基に次のステップへ！◆

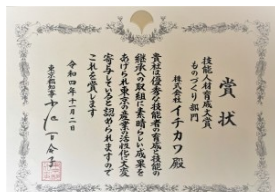
当社は今まで設計から製造・保守体制まで一貫した管理体制を整えてきており、また海外展開の経験、実績もあるため、そのノウハウを活かしていきたいと思っています。海外で稼働している製品の改修や保守・メンテナンスをメーカー様と一緒にやって対応することで、よりメーカーのニーズにお応えできると思っております。また「imm Cloud」と言う自社開発の生産管理システムの完成度を高め社内デジタル化の推進と外販も展開していく予定です。今後ともよろしくお願いいたします。



中小企業庁 はばたく中小企業・小規模事業者300社選定 (2020.11.12)



写真左より代表取締役社長 市川博士氏、
代表取締役副社長 市川 敦士 氏



東京都中小企業技能人材育成大賞 知事賞大賞 受賞(2022.11.2)

東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞 東京都

東京都では、都内の中小企業等で技能者の育成と技能継承の取組に特に成果を上げた中小企業等を「東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞」として表彰しています。

この度、当協会の会員より株式会社イチカワ様が東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞 大賞を受賞されました。【写真 株式会社イチカワ 市川敦士副社長】



株式会社イチカワ

東京都羽村市神明台4-8-39

代表取締役社長 市川 博士

【H/P】<https://www.ichikawa.co.jp/>



多摩ブルー・グリーン賞(多摩グリーン賞 経営部門) 多摩信用金庫

「多摩ブルー・グリーン賞」は、地域で活躍する中小企業の方々の優れた技術や経営手腕を評価し、表彰しています地域企業による技術開発や経営戦略創造の活力を生み出し、地域経済がより活性化されることを願い実施するものです。

この度、当協会の会員より株式会社ユニテックス様が多摩グリーン賞（多摩みらい賞）を受賞されました。

【写真 左:多摩信用金庫 八木敏郎理事長 右:(株)ユニテックス 小杉恵美社長】



株式会社ユニテックス

東京都町田市町中二丁目2番4号 ユニテックスビル

代表取締役 小杉 恵美

【H/P】<https://www.unitex.co.jp/index.shtml>



SMALL GIANTS AWARD(ネクストムーブメント賞) Forbes JAPAN

スモールジャイアンツアワードはフォーブスジャパンが主催する全国から推薦を受けた候補企業から、真のスモール・ジャイアンツ企業を選出する、年に一度の大会です。この度、当協会の会員より株式会社オータマ様がネクストムーブメント賞を受賞されました。【写真 左から3番目が株式会社オータマ奥村哲也社長】



株式会社オータマ

東京都稲城市押立1744

代表取締役社長 奥村 哲也

【H/P】<https://www.ohtama.co.jp/index.html>



☆「経営デザインシート」を用いた支援事例16社を公開★

事業名「首都圏西部地域における知財の見える化・デジタル化(DX)・イノベーション(OI)推進支援体制の構築」

弊協会では、経済産業省「令和3年度中小企業知的財産支援事業」の採択を受け、「経営デザインシート」を用いた知財の見える化支援を実施いたしました。

そのうち16社の支援成果についてホームページにて公開いたしましたので、ご参照くださいませ。



◇◆◇ TAMAコーディネーターのご紹介 ◇◆◇

TAMAコーディネーターとして活躍する方々を協会ホームページでご紹介しています。「こんな実績があるコーディネータさんを探したい」「あの業界のネットワークをお持ちの方を探したい」などご希望の方は事務局までご連絡下さい。



<https://www.tamaweb.or.jp/about/tama-cordinatorer>

Event Report

■ つなぐWaSession

後援：株式会社 さがみはら産業創造センター（SIC）
地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）

つなぐWa Sessionは、会員が定期的集まることで知り合いや仲間を増やし、相互研鑽できるような場となり、協会活動への積極的な参加や期待を高めることを狙いとし、開催にあたっては、企業経営や地域経済、時事問題等に関するテーマを設定し、企業経営者の方や専門分野をお持ちの方にスピーチ(講演・セミナーではない形式)して頂き、質疑応答や意見交換、ブレイクタイムなどを通し会員間交流を広げ頂くことを目的とし開催しております。「つなぐWaSession」の「Wa」は「輪・和・話」を意味しています。

第35回 開催報告 「研究開発プロジェクトを有利に進める外部資金の獲得」

研究開発を促進するための条件の一つは研究資金の確保であり、会員企業を含め各企業で関心の高い事項ですが、自主財源だけでは難しい側面もあります。

研究開発プロジェクトを有利に進めるための外部資金獲得をテーマとし、数ある補助金の中でも特に、経済産業省が中小企業の研究開発・試作品開発を促進するための支援事業“成長型中小企業等研究開発支援事業（通称：Go-tech事業）”に焦点を当てて開催いたしました。

【開催日時】 2022年11月22日(火)16:00～17:30

【実施方法】 オンライン会議システムZoom

【参加者数】 26名

【内 容】 1.独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部 アドバイザー 佐々木 浩子 様

- ・Go-techとは（制度の説明、サポインとの違い）
- ・Go-tech申請するために行うべき事
- ・令和5年度の情報

2.株式会社カイ 代表取締役 堀澤 知義 様

- ・外部資金を獲得しようと思ったきっかけ
- ・Go-techを知ったきっかけ、申請しようと思ったきっかけ
- ・Go-techを申請するために行った事
- ・過去に申請した外部資金（NDEO等）とGo-techの違い、また、共通していることがら等
- ・研究資金獲得のメリット、デメリット、獲得するための準備についてなど

3.有限会社山内エンジニアリング 営業部長 郡司 章 様

- ・外部資金を獲得しようと思ったきっかけ
- ・サポイン事業を終了して、事業化の状況
- ・サポインを申請するために行った事（申請で準備や手配した事など）
- ・事業終了後すぐに受注につながったことについて、事業実施中に行った事
- ・これからサポインなどの外部資金を活用する人へのアドバイス、メッセージなど



■ TAMA技術連携&オープンイノベーション交流会@かながわ

首都圏産業活性化協会では、日本のものづくり産業をさらに活性化する目的で、大学、研究機関等、大手企業と中小企業の連携を促進する「技術連携交流会」を開催いたしました。今年度は、生活支援ロボットの実用化を進めるため技術連携を促進するオープンイノベーションに取り組む神奈川県「さがみロボット産業特区」と、神奈川県内の産業界に精通している（地独）神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）および（公財）神奈川県産業振興センター（KIP）とともに、より活発な「技術連携交流会」を開催いたしました。

【開催日時】 2022年11月24日(木) 13:00～17:00

【テーマ】 ロボット*次世代技術

【開催方法】 会場+オンライン併用

【参加者数】 26名

【内 容】 神奈川県立産業技術総合研究所 海老名本部（神奈川県海老名市下今泉705-1）

第一部 13:00～14:00 「開会式&パネルディスカッション」

第二部 14:00～17:00 「技術連携交流会」(ニーズ提供企業：アルトリスト様、ハイボット様)

※企業のニーズに基づくマッチング面談 あわせて希望者を対象にKISTEC施設見学会を実施

【共 催】 一般社団法人 首都圏産業活性化協会、地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所

神奈川県、神奈川県R&D推進協議会、公益財団法人 神奈川県産業振興センター

【協 力】 相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、愛川町、平塚商工会議所、藤沢商工会議所、茅ヶ崎商工会議所、厚木商工会議所、大和商工会議所、伊勢原市商工会、海老名商工会議所、座間市商工会、綾瀬市商工会、寒川町商工会、愛甲商工会、相模原商工会議所、城山商工会、津久井商工会、相模湖商工会、藤野商工会、横浜銀行、(株)さらばし銀行、湘南信用金庫、平塚信用金庫



Event Report

■ 技術経営大学特別企画 オープンイノベーションサポーター育成講座inTAMA

関東経済産業局では、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営するマッチングサイト「ジグテック(J-GoodTech)」内に、大手・中堅・中小企業の開発ニーズ等を一元的に掲載し、効率的にパートナー探索が可能なウェブサイト「オープンイノベーション・マッチングスクエア (OIMS)」を運営しております。本セミナーでは、ジグテックやOIMSの活用方法とあわせて、大手企業の協業ニーズ情報についてもご紹介いたしました。

【開催日時】 2022年10月5日 (水) 16:00~17:30 【会場】 狭山市産業労働センター+ オンライン(Zoom)併用

【参加者数】 44名

- 【内 容】
1. 経済産業省関東経済産業局 産業技術革新課 「オープンイノベーションの取組のご紹介」
 2. 独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 企業支援部 支援推進課 中小企業アドバイザー 若松 誠一 氏
「マッチングサイト「ジグテック(J-GoodTech)」とOIMSの活用について」

■ 第67回 新都心イブニングサロン 「GX (グリーン・トランスフォーメーション) ～環境技術で持続可能な社会を」

新都心イブニングサロンは、技術にプライドを持つ企業家・大学教員にプレゼンを行っていただき、そのプレゼンを聴いた意欲的企業家達との「商談」をマッチングすることを目指しています。プレゼンする人も聴く側も“Japan-tech Pride”を理解し、参加者が力を合わせて場の価値を高めていくことをコンセプトとしています。

【開催日時】 2022年10月28日 (金) 17:30~ 【実施方法】 オンデマンド配信

【視聴URL】 <https://www.tamaweb.or.jp/archives/5239>

- 【内 容】
1. 日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会
イブニングサロン・ネットワーク 野長瀬 裕二 世話人
 2. 首都圏産業活性化協会 副会長
株式会社industria 代表取締役社長 高橋 一彰 氏
「カーボンニュートラル研究会の取組」
 3. Curelabo株式会社 代表取締役社長 山本 直人 氏
「地域の未利用資源活用と新製品開発」
 4. 株式会社SAMURAI TRADING 代表取締役社長 櫻井 裕也 氏
「地域循環型バイオプラスチック事業」
 5. 株式会社環境経営総合研究所 代表取締役社長 松下 敬通 氏
「オンリーワンの環境技術とグローバルな事業戦略」

【主 催】 埼玉県、特定非営利活動法人新都心イノベーションパートナーズ

【共 催】 首都圏産業活性化協会カーボンニュートラル研究会

【後 援】 日本ベンチャー学会 【協力・制作】 (一社)首都圏産業活性化協会



※動画配信中

■ 「入社までの継続サポートを実現する内定者合同フォロー研修」(2023年入社対象)

首都圏産業活性化協会では地域企業の内定者を対象に、社会で生き抜くタフさを身につけるためのフォロー研修を開催しております。来春までの継続した研修により「内定者の状況把握」や「企業とのつながり」を深め、内定辞退や入社後の早期退職防止をサポート。また参加企業様横断の人事担当者ミーティングも実施しますので、意見交換を通じて自社の体制づくりを考える機会につなげていただいております

【内 容】 10月より、来春まで計6回の研修+多様性対応コミュニケーション能力検定を実施

【日 程】 各回 15:00~17:00 ※Zoomオンラインにて実施中 現在①~③まで終了

- 講座① 10月24日 (月) 終了
講座② 11月15日 (火) 終了
講座③ 12月 8日 (木) 終了
講座④ 1月11日 (水)
講座⑤ 2月 9日 (木)
講座⑥ 3月 8日 (水)

入社直前までの継続フォローにより学生状況をタイムリーにつかめます

「学生動向」「企業対応」「採用活動」のいずれにも知見・経験を持つ講師が担当

アセスメントにより内定者の多様性対応コミュニケーション能力を測定します

内定者フォロー計画が研修を中心に組めるため、企業側の負担も軽減できます

企業担当者様向けの報告会も行い企業側の不安や懸念の解消にも伴走します

講座終了ごとに内定者から企業担当者へ報告をします。

【講 師】 株式会社KIBI
上級研究員 見附 誠子 氏

Event Report

■ 経済産業省 令和4年度中小企業知的財産活動支援事業

経済産業省 補助事業

～首都圏西部地域におけるカーボンニュートラルを事業機会とする中小企業の知財戦略支援体制の構築～

首都圏産業活性化協会では中小企業の「稼ぐ力」の強化に向け、中小企業様の『持続的なイノベーション創出』『知財意識の普及啓発』『企業内の知財人材のスキルアップ』など、知的財産活動を推進しております。

当協会では、経済産業省「令和4年度中小企業等知的財産活動支援事業費補助金(中小企業知的財産支援事業)」の採択を受け、カーボンニュートラルの推進やグリーンイノベーションを目指す中小企業を対象として、“従来製品や従来サービスの単なる改良ではない『新たな市場の創出』”を促進する事業を進めております。

□ 知財が企業経営を変える！知財戦略・予防法務セミナー(全3回)

今年度の知財戦略・予防法務セミナーは昨年に引き続き、第145回直木賞受賞作品 池井戸潤氏著「下町ロケット」に登場する神谷弁護士のモデルとなった鮫島 正洋 氏をはじめ高橋 正憲 氏、永島 太郎 氏の3名の弁護士の先生にご講演頂きました。

[開催日時・内容]

第1回 令和4年11月2日(水) 16:00～18:00

テーマ：技術法務総論＋知財戦略

講師：弁護士法人内田・鮫島法律相談事務所 弁護士／弁理士 鮫島 正洋 氏

第2回 令和4年11月16日(水) 16:00～18:00

テーマ：モデル契約書(※)を使った法務のあり方/OIの進め方

～ハードウェアビジネスの進め方(材料編)～

講師：弁護士法人内田・鮫島法律相談事務所 弁護士／弁理士 高橋 正憲 氏

第3回 令和4年11月30日(水) 16:00～18:00

テーマ：モデル契約書(※)を使った法務のあり方/DXの進め方

～個人情報保護・営業秘密(データ編)～

講師：弁護士法人内田・鮫島法律相談事務所 弁護士／獣医師 永島 太郎 氏

[参加者数] 第1回目:68名、第2回目:59名、第3回:71名

[開催方法] オンライン会議システム (Zoom)

[対象] 埼玉・東京・神奈川・および首都圏近郊の中小企業のみなさま (職歴不問)

金融機関、自治体、産業支援機関のみなさま

※【モデル契約書について】特許庁と経済産業省は、研究開発型スタートアップと事業会社の連携を促進するため、共同研究契約やライセンス契約などを交渉する際に留意すべきポイントについて解説した『モデル契約書ver2.0』を取りまとめました。詳しくは特許庁「オープンイノベーションポータルサイト」をご覧ください。



□ カーボンニュートラルを事業機会とするフューチャーセッション (第3回・第4回)

首都圏産業活性化協会では、カーボンニュートラルを切り口として、自社の変革を目指す中小企業を対象に、将来のありたい姿を描き、経営デザインシートを用いて「知財の見える化」を支援しております。異業種交流型ワークショップを通じて、相互に学び合う場を提供し、未来を切り拓くチームイノベーションを体感していただくセッションを全4回にわたり開催しました。

[第3回] 「1社に絞り込み超絶良い会社にする」

「未来へのシグナルと事業戦略」

・開催日時 2022年11月7日(月) 10:00～17:00

・会場 八王子市学園都市センター

[第4回] 「自社のありたい姿」を明確に描く

・開催日時 2022年12月6日(火) 10:00～17:00

・会場 東京たま未来メッセ(八王子市)

[対象] 経営者・経営幹部・リーダー

[講師] 全4回共通

一般社団法人首都圏産業活性化協会

フューチャーセッション担当ファシリテーター 赤堀 絵里奈

一般財団法人知的財産研究教育財団 事業部長 近藤 泰祐 氏

株式会社スコラ・コンサルト プロセスデザイナー 内田 拓 氏



[実施機関] 一般社団法人 首都圏産業活性化協会

[連携機関] 神奈川県、狭山市、所沢市、八王子市、羽村市、日野市、相模原市

一般社団法人東京都中小企業診断士協会三多摩支部、一般財団法人知的財産研究教育財団

Event Report

■ 経営課題解決のためのデータ活用講座2022

～データを制したものがビジネスを制す～



[講座の目標]

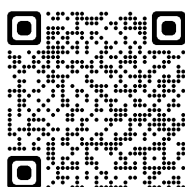
ビックデータの活用が本格的に始まったことを契機に、ビジネスの分野においては、「データから価値を創出し、ビジネス課題に答えを出すプロフェッショナル人材」に注目を集まっております。本講座では、データを活用して、自社およびビジネスにおいて何らかの価値創造を目指す方達の入門講座の位置付けとして、データサイエンスの基礎を学ぶことで、データの基本的な扱い方、活用方法、データモデリング、分析手法などの習得を目指します。また、演習を通じて、データベースの基礎やSQL (国際標準規格のデータベース言語)を用いた基本的なデータ操作方法についても習得していきます。

[開催方法] オンラインZoom会議

[実施スケジュール](1日2コマ・全7日)

2022年11月5日(土) ～ 2023年2月11日(土)

※2023年1月以降の科目受講生募集中



日付	1時限 9:00～10:30	2時限 10:40～12:10
2022年 11月5日(土)	データサイエンスの基本概念と応用例	データ分析プロセスの理解と実践例の紹介
2022年 11月19日(土)	データモデル概念の理解とプロトタイプモデル作成演習	データサイエンスに必要な統計手法と具体的な利用例
2022年 12月3日(土)	ビックデータの活用方法と現状	新しいIT技術の活用
2022年 12月17日(土)	【事例紹介】顧客データ分析事例	【事例紹介】購買データ分析事例
2023年 1月14日(土) 募集中!	【事例紹介】製造原価分析事例 グローバル製造業全体の課題である製造原価分析に関して、先進的なグローバル製造企業が、現在どのような方法で原価分析を行っているかを紹介します。	販売データ分析演習 販売データの代表であるPOSデータを使い、販売データ分析に関して理解を深めるとともに、販売データの分析における課題と分析時の重要なポイントを、演習を通じて理解していただきます。
2023年 1月28日(土) 募集中!	貸借対照表による財務分析の基礎 貸借対照表(B/S)を使った財務分析の基礎を学習し、売上分析を例とした場合、実際どのような手順で分析を行なうのかを理解していただきます。	ビックデータ分析事例 IoTデータを使ったビックデータ解析に関して、実際のデータを確認しながら、ビックデータの基本的な解析手順や解析手法を理解していただきます。
2023年 2月11日(土) 募集中!	データクレンジング概念の理解と具体的な事例の紹介 データサイエンティストの仕事の80%を占めると言われているデータクレンジングに関して、何のために、どんな手法でデータクレンジングを行うのかを具体的な事例を交えて解説します。	データベースの基礎とデータサイエンスのまとめ データベースの基礎とSQL (国際標準規格のデータベース言語)に関して学習します。また、講義全体の復習とまとめを行います。

[講師]

嶋田 圭吾 (しまだ けいご) 氏 (一社) 日本データビジネス協会 (JDBA) 所属
東京工業大学1977年卒。大手ITベンダーに30年勤務し、2015年からはデータサイエンティストのスキル体系を整備しつつ、自らデータサイエンティストとして大手企業のデータ活用を推進するコンサルティング活動を主な業務としている。
<実績> 国税庁データ活用研修 (2016年～)、岩崎学園後期授業データサイエンティスト講座 (2016年～)
立教大学大学院MBA春1データサイエンス初級講座 (2017年～)、ほか個別企業向け社内セミナー等

* 2023年1月～2月までの科目履修生募集中です。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

[主催・共催]

主催：一般社団法人首都圏産業活性化協会(TAMA協会) 共催：一般社団法人日本データビジネス協会 (JDBA)



Event Report

■ 第32回 はむらイブニングサロン

羽村市受託事業

「中小企業が取り組むDX認定とデジタル経営計画書」

「はむらイブニングサロン」は、技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンを行い、プレゼンを聞いた意欲的企業家達とのマッチングを目指した異業種交流会です。

第32回は、羽村市で特注トランスや電源機器の開発メーカーとして成長を続けられる株式会社NISSYOの久保社長をプレゼンターにお迎えし、「中小企業が取り組むDX認定とデジタル経営計画書」というテーマでお話をお聞きました。

同社は経済産業省が定めるDX認定制度に基づく「DX認定取得事業者」に三多摩の中小企業初となる認定を取得され、取組事例や認定取得までのストーリー、今後の展望についてお話を頂きました。

- [開催日時] 2022年11月17日(木) 15:00-16:30
- [参加者数] 40名
- [実施方法] 対面形式
- [開催場所] 羽村市生涯学習センターゆとろぎ



■ 埼玉県 ロボティクスセミナー（全4回シリーズ）

埼玉県受託事業

埼玉県は、交通利便性に優れた圏央鶴ヶ島IC付近の約12ヘクタールのエリアに「社会的課題解決に資するロボット」開発を支援する「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」の整備を進めています。

令和8年度予定のセンター開所に向けて、ロボット開発関連企業及びロボット活用企業等(予定を含む)を対象としたセミナーを開催いたしました。

* 当協会では本セミナーに関する企画、運営等、コンソーシアム形成に関し受託し事業の推進をしております。

□ 第2回ロボティクスセミナー ～ドローンの研究開発と活用の潮流～

- [開催日時] 2022年10月14日(金) 13:30-16:30
- [形式] 集合開催(交流会も含む)
オンデマンド動画配信(10/21(金)～)
- [会場] 新都心ビジネスプラザ4階会議室
- [参加者] 74名(先着順)
- [テーマ] ドローンの研究開発と活用の潮流
- [講師] 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授 鈴木 真二 氏
秩父市 産業観光部 産業支援課 笠井 知洋 氏
楽天グループ株式会社 ドローン事業課 谷 真斗 氏
ブルーイノベーション株式会社 代表取締役社長 熊田 貴之 氏
株式会社NTT e-Drone Technology 代表取締役 山崎 顕 氏
- [参加費] 無料
- [対象] ドローン開発関連企業・ドローン活用企業(予定を含む) 他



□ 第3回ロボティクスセミナー ～ものづくり企業のロボット産業への参入～

- [開催日時] 2022年11月4日(金)13時30分から16時30分まで
- [形式] 集合開催(交流会も含む)
オンデマンド動画配信(11/11(金)～)
- [会場] ウェスタ川越 多目的ホールA・B
- [定員] 69名(先着順)
- [テーマ] ものづくり企業のロボット産業への参入
- [講師] 東京大学大学院 工学系研究科 特任研究員 松日楽 信人 氏
株式会社菊池製作所 執行役員 副社長 一柳 健 氏
ヤマグチロボット研究所 代表 山口 仁一 氏
(公財)埼玉県産業振興公社 マッチングコーディネーター 酒井 貴之 氏
- [参加費] 無料
- [対象] ロボット開発関連企業(要素技術・加工技術を含む)
ロボット活用企業(予定を含む) 他



今後のイベント・セミナー

皆さまの「知りたい」「聞きたい」「話したい」によるセミナー・研修・交流会を開催します。
ニーズ・テーマのご希望は事務局へご連絡ください。また皆さまの事例・講師紹介もお待ちしております。

■ つなぐWaSession

後援：株式会社 さがみはら産業創造センター（SIC）
地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）

つなぐWa Sessionは、会員が定期的集まることで知り合いや仲間を増やし、相互研鑽できるような場となり、協会活動への積極的な参加や期待を高めることを狙いとし、開催にあたっては、企業経営や地域経済、時事問題等に関するテーマを設定し、企業経営者の方や専門分野をお持ちの方にスピーチして頂き、質疑応答や意見交換、ブレイクタイムなどを通し会員間交流を広げ頂くことを目的とし開催しております。「つなぐWaSession」の「Wa」は「輪・和・話」を意味しています。

□ 第37回 つなぐWa Session

[開催日時] 2023年1月27日(金)16:00~17:45(予定)

[実施方法] オンライン会議システムZoom (予定)

※内容・登壇者等詳細が決まり次第ホームページにて告知いたします。



■ ドイツ・シュタインバイス大学と東京農工大学の合同研修

協会後援事業

3月プログラム参加者募集開始

約10年前に首都圏産業活性化協会の仲立ちがきっかけとなって、東京農工大学とシュタインバイス大学が共同で研修プログラムを開始し、現在では年に2回（9月と3月）に開催されています。日本側の参加者は延べ300名を超えています。

ドイツと日本の参加者が協働することによって、グローバルな時代の国際プロジェクトチームで、多様なバックグラウンドを持つメンバーが議論する状況を模擬しています。英語によるインターナショナルなチームワークを体験する機会となっています。

東京農工大学では、この研修に企業から参加者を有料で受け入れています。若手社会人の方が日本側チームリーダーとなり、企業から出された課題に提案を作るディスカッションをリードする立場になります。ビジネス経験が乏しい学生メンバーを率いるチームマネジメントを実践する場といえます。

興味をお持ちの会員企業様は、直接東京農工大学の秋澤教授までご連絡ください。
オンラインで詳しい説明を聞くことができます。この機会を是非活用してはいかがでしょうか。

[内容] 日独合同チームによるリアル・ケーススタディ（企業から出された海外進出等のビジネス課題に対して、具体策を提案する）異文化間コミュニケーションに関するセミナー、文化交流体験など

[スケジュール] 1月13日(金)：募集締め切り
1月20日(金) 18:00-20:00：キックオフミーティング
1月28日(土) 9:00-16:00、2月4日(土)10:00-16:00、2月11日(土) 9:00-17:00、
2月25日(土)10:00-16:00：事前研修
2月13日(月) 合同キックオフミーティング
3月6日(月)~17日(金)：本研修
3月30日(木) 9:30-17:00：事後研修

[費用・その他] 参加費（1名）：60万円（消費税別）
研修会場までからの交通費、公共交通機関による交通費、通信環境の用意等の負担あり。

[申込み期限] 2023年1月13日(金)

[お問合せ] 東京農工大学 大学院生物システム応用科学府 教授 秋澤 淳 (akisawa@go.tuat.ac.jp)



今後のイベント・セミナー

皆さまの「知りたい」「聞きたい」「話したい」によるセミナー・研修・交流会を開催します。
ニーズ・テーマのご希望は事務局へご連絡ください。また皆さまの事例・講師紹介もお待ちしております。

■ 製造業向け事例に学ぶDXプロジェクトの進め方

経済産業省 補助事業

社会・経済環境が劇的に変化中、企業価値を高めるデジタルトランスフォーメーション（DX）の第一歩として、自社の実情に合ったDXプロジェクトの策定と実行、それに伴う社内環境・機運の醸成が重要となります。本セミナーでは、ビジネスモデルの変革を目指す製造業の方を対象に、DXの実践事例を紹介しながら、DXへの一歩を後押しする内容となります。

- [開催日時] 2023年1月23日(金) 15:00-17:00
- [会場] たましん事業支援センター [Winセンター]
(立川市緑町3-4 多摩信用金庫本店 3F)
- [参加者] 20名 ※定員になり次第締め切らせていただきます。
- [テーマ] 製造業向け事例に学ぶDXプロジェクトの進め方
- [内容] 株式会社BUDDYHOOD 代表取締役 大庭 聖司 氏 (中小企業診断士)
「製造業向け 事例に学ぶDXプロジェクトの進め方」
一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)
「DXのススメ」～地域DX促進活動支援事業について～
- [参加費] 無料
- [お申込み] <https://www.tamaweb.or.jp/archives/29603>
- [申込締切] 2023年1月19日 (木) 17:00
- [主催] 多摩信用金庫
- [共催] 一般社団法人首都圏産業活性化協会
(「首都圏ものづくりDX推進コミュニティ」代表機関※)
※本セミナーは、令和4年度経済産業省地域DX促進活動支援事業の一環として行ないます。



■ 農・工先端研究×情報科学技術からの事業創出

経済産業省 補助事業

東京農工大学では、DXの基盤となる情報知能工学をはじめとする工学・農学の教育研究を実施しており、情報技術と幅広い研究を組み合わせた新技術シーズを創出しています。

今回のセミナーでは、農・工先端研究×情報科学技術による最先端の研究・取組の成果から、地域企業における新デジタル事業創出のヒントを提供することを目指します。

- [開催日時] 2023年1月31日(火) 15:00-17:30
- [開催方法] 会場・オンラインZoom ハイブリッド開催
- [会場] 東京農工大学 府中キャンパス 1号館11号室
(東京都府中市晴見町3-8-1)
- [テーマ] 農・工先端研究×情報科学技術からの事業創出
- [内容] <第1部>
東京農工大学工学研究院 中本 圭一 教授
「機械加工のDXに向けた支援技術の開発」
東京農工大学工学研究院 水内 郁夫 教授
「人間に学び考えるロボティクス」
東京農工大学 スマートコアファシリティー 伊藤 喜之 特任准教授
東京農工大学 スマートコアファシリティー 小園 拓馬 特任助教
「計測機器をデジタル技術で遠隔化・自動化し、研究開発DXの基盤を構築する」
<第2部>
スマートコアファシリティー推進機構 (※) 見学会 先着申込順 定員30名様
(希望者は見学会後にロビーで意見交換が可能です)
(※) スマートコアファシリティー推進機構は、東京農工大学の重点研究分野を支える電子顕微鏡、核磁気共鳴装置、質量分析計、分光分析装置をコアファシリティーとして集約した組織です。東京農工大学の研究者・学生だけでなく、学外の研究者、技術者にも最先端の研究設備と専門技術者による分析技術を提供するプラットフォームです。
- [お申込み] 別途ホームページ、メールマガジンなどお知らせ致します。
- [主催] 一般社団法人首都圏産業活性化協会
(「首都圏ものづくりDX推進コミュニティ」代表機関※)
※本セミナーは、令和4年度経済産業省地域DX促進活動支援事業の一環として行ないます
- [共催] 国立大学法人 東京農工大学



■首都圏産業活性化協会からお知らせ

協会からのご連絡、開催イベント情報

一般社団法人首都圏産業活性化協会

令和5年新春講演会

令和5年
1/13
(Fri)

新春を迎えるに当たり、下記の通り講演会を開催いたします。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、例年開催している飲食を伴う新春賀詞交歓会は行わずに、リアル会場の入場数を制限し、オンラインを併用しての新春講演会および会員交流会を開催する予定です。

■開催日時：令和5年1月13日（金）16:00～18:00 ※会場+オンライン「Zoom」併用にて開催

■会場：プリモホールゆとろぎ B1F レセプションホール
(羽村市生涯学習センター/東京都羽村市緑ヶ丘1-11-5)

■定員：会場 80名（先着順 / 1団体2名まで） オンライン 500名

■内容：第一部 16:00～17:30

・野長瀬会長より年頭のご挨拶

・関東経済産業局長、羽村市長、八王子市長、相模原市長より来賓ご挨拶

・新春講演会

愛知淑徳大学 ビジネス学部研究科 真田 幸光 教授

テーマ：2023年の国際環境と経済の情勢

～激動の世界経済における日本企業の取るべき戦略～

第二部 17:40～18:00 新入会員紹介、協会よりお知らせ

■お申込み：URL:<https://www.tamaweb.or.jp/archives/28214>



◆テクニカルショウヨコハマ2023（第44回工業技術見本市）に出展いたします

首都圏産業活性化協会では、経済産業省「地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域 DX 促進活動支援事業）」の採択を受け、地域DX促進事業の告知及び参加企業の募集、成果報告を実施するためテクニカルショウヨコハマに出展いたします。

【開催期間】2023年2月1日（水）～3日（金） 10:00～17:00

【会場】パシフィコ横浜 展示ホールA・B・C（横浜市西区みなとみらい1-1-1）【ブース番号】R01

◇併催セミナー

【開催日時】2023年2月2日（木） 10:30～12:00

【会場】パシフィコ横浜 展示ホール2階会議室E24

【講師】一般社団法人 首都圏産業活性化協会（TAMA協会）

産学官連携コーディネーター

令和4年度地域DX促進事業プロジェクトリーダー 佐藤 隆洋

【内容】首都圏産業活性化協会では、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することを目的に「首都圏ものづくりDXコミュニティ」の形成に取り組んでいます。今年度、経産省「地域DX補助事業」の採択を受け、県内および近郊の中堅・中小製造業を対象にDX戦略の策定を支援中である。その中から、各社のDX化に向けて取り組んでいる身近な実践例をご紹介します。

テクニカルショウ ヨコハマ2023

◆第20回たま工業交流展に出展いたします ※協会後援イベント

首都圏産業活性化協会では、経済産業省の補助事業成果報告や日々の活動成果などの報告のため第20回たま工業交流展に出展いたします。

【開催期間】2023年2月21日（木）・22日（金） 10:00～16:00

【会場】東京都立多摩職業能力開発センター（東京都昭島市東町3-6-33）

【主催】たま工業交流展実行委員会



新規登録 TAMAコーディネーター・個人会員のご紹介

■個人会員

- ・石川 達也（いしがわ たつや） 中小企業診断士、情報処理安全確保支援士
得意分野：営業活動の戦略立案、IT関連導入に向けた業務改善、管理部門の業務改善
- ・井上 博行（いのうえ ひろゆき） 中小企業診断士
得意分野：法人営業販路開拓、事業承継支援、事業再生支援、与信管理
- ・近藤 巧（こんどう さとし） 中小企業診断士
得意領域：新技術・新製品開発支援（機械、化学、金属、素形材分野）
工場経営支援（工程設計・改善による生産性向上、品質保証体制構築、人材育成）
新規事業の構想・立案・実践支援
- ・島谷 健太郎（しまや けんたろう） 中小企業診断士、SP融資コンサルタント、
介護用品等卸売業のシマヤメディカル株式会社取締役
得意分野：事業計画策定・実行支援、資金調達（補助金・融資）支援、ITツール導入・管理支援、
小規模企業後継者の育成支援
- ・土田 喜浩（つちだ よしひろ） 中小企業診断士、社会保険労務士、CFP（ファイナンシャルプランナー）
得意分野：人事・労務管理全般、事業計画策定
- ・由良 茂男（ゆら しげお） 由良経営技術研究所 所長、中小企業診断士、技術士（機械部門）
得意分野：土木・農業用金属建材のニーズ調査
商品開発、販売支援、事業計画策定支援



首都圏産業活性化協会 会員の構成（令和4年11月末現在総数509）

- 営利法人：248（個人事業主、金融機関含む） ● 教育機関：28 ● 自治体：19
- 団体：61 ● 個人（コーディネーター含む）：153

発行元・問合せ

一般社団法人首都圏産業活性化協会会報「つなぐWa」は、協会ホームページへの掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。

一般社団法人首都圏産業活性化協会

Email：info@tamaweb.or.jp

URL：https://www.tamaweb.or.jp/

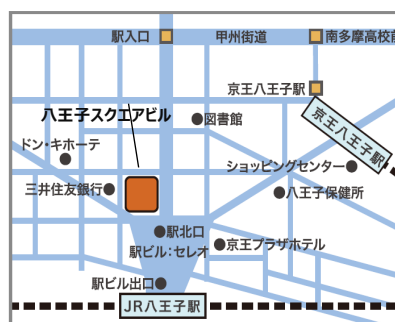
■八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1
八王子スクエアビル11階
TEL：042-631-1140
FAX：042-631-1124

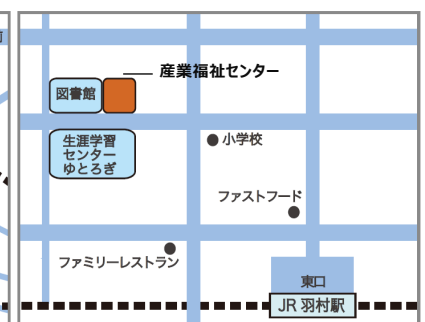
■羽村サテライト（月曜日休館）

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2-11-1
羽村市産業福祉センター1階
TEL：042-570-3481
FAX：042-570-3482

<八王子事務所>



<羽村サテライト>



2023年

1/31(火)

15:00~17:30

参加無料

DX

Digital
Transformation農・工先端研究×情報科学技術
からの事業創出

東京農工大学では、DXの基盤となる情報・智能工学をまじめとする工学・農学の教育研究を実施しており、情報技術と幅広い研究を組み合わせた新技術シーズを創出しています。

今回のセミナーでは、農・工先端研究×情報科学技術による最先端の研究・取組の成果から、地域企業における新デジタル事業創出のヒントを提供することを目指します。なお、本セミナーは令和4年度・経済産業省地域DX促進事業の採択を受け、首都圏産業活性化協会主催により、東京農工大学との共催(予定)にて開催いたします。

主催 一般社団法人首都圏産業活性化協会

共催(予定) 国立大学法人 東京農工大学

形式 会場・オンラインZoom ハイブリッド開催

会場 東京農工大学 府中キャンパス 1号館11号室
(東京都府中市晴見町3-8-1)申込 <https://www.tamaweb.or.jp/archives/29821>

内容



第1部 講演 15:00 ~ 16:30



「機械加工のDXに向けた支援技術の開発」
東京農工大学工学研究院 中本 圭一 教授



「人間に学び考えるロボティクス」
東京農工大学工学研究院 水内 郁夫 教授



「計測機器をデジタル技術で遠隔化・自動化し、研究開発DXの基盤を構築する」
東京農工大学 スマートコアファシリティー 伊藤 喜之 特任准教授
東京農工大学 スマートコアファシリティー 小菌 拓馬 特任助教

第2部 スマートコアファシリティー推進機構(※) 見学会 16:40 ~ 17:30

先着申込順 定員30名様
(希望者は見学会後にロビーで意見交換が可能です)

スマートコアファシリティー推進機構
についての詳細はこちら

(※)スマートコアファシリティー推進機構は、東京農工大学の重点研究分野を支える電子顕微鏡、核磁気共鳴装置、質量分析計、分光分析装置をコアファシリティーとして集約した組織です。東京農工大学の研究者・学生だけでなく、学外の研究者、技術者にも最先端の研究設備と専門技術者による分析技術を提供するプラットフォームです。



経営支援

本セミナーは、令和四年度経済産業省地域DX促進活動支援事業の一環として行います

首都圏ものづくりDX推進コミュニティ共催セミナー

**製造業向け
事例に学ぶDXプロジェクトの進め方**

社会・経済環境が劇的に変化する中、企業価値を高めるデジタルトランスフォーメーション(DX)の第一歩として、自社の実情に合ったDXプロジェクトの策定と実行、それに伴う社内環境・機運の醸成が重要となります。本セミナーでは、ビジネスモデルの変革を目指す製造業の方を対象に、DXの実践事例を紹介しながら、DXへの一歩を後押しする内容となります。

カリキュラム

第1部 セミナー (午後3時～午後4時30分)

「製造業向け 事例に学ぶDXプロジェクトの進め方」

- DXの定義や求められる背景 ● 企業の目標・課題から検討するDX
- DX推進によって課題を解決した事例 ● DXで活用できる補助金

【講師】

株式会社BUDDYHOOD 代表取締役
中小企業診断士

大庭 聖司 氏



慶應義塾大学理工学専攻修士。SEとしてIT企業に勤務。2011年中小企業診断士登録とともにLEC中小企業診断士の専任講師に就任。同年4月にOHBAコンサルティング設立。2014年より東京都よろず支援拠点コーディネーター。2015年に株式会社BUDDYHOOD設立

第2部 情報提供 (午後4時40分～午後5時)

「DXのススメ」～地域DX促進活動支援事業について～

- 本事業の取組みについて
- 「DX推進指標」、「経営デザインシート」、「ローカルベンチマーク(財務)」の活用
- 国や東京都におけるDX促進施策の紹介

【講師】 一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)



日時 2023年1月23日(月) 午後3時～午後5時

会場 たましん事業支援センター[Winセンター]
(立川市緑町3-4 多摩信用金庫本店 3F)

参加費 無料 定員20名 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

共催 一般社団法人首都圏産業活性化協会

申込方法

たましんホームページからお申込み

<https://ask-tamashin.dga.jp/b/5080>



お問い合わせ 多摩信用金庫 価値創造事業部 TEL042-526-7728 <https://www.tamashin.jp>

【ご留意事項】

※参加者の個人情報は、多摩信用金庫およびたましん法人総合サービスBOB(株式会社多摩情報メディア)にて適切に管理し、多摩信用金庫からの情報提供のみに利用させていただきます。

※本セミナーの反社会的勢力の参加はお断りします。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、本セミナーを中止またはオンラインに移行する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第20回 たま 工業交流展



製品・技術展示

機械・金属・電気機器分野
情報関連・ソフト開発分野
環境関連分野
その他製造業
学校関連・協力団体

ビジネスマッチング

入場
無料

来て見て知ろう! 多摩の技術力!!

期間

2023.
2.21 [火]
22 [水]
10:00 ▶ 16:00

会場

東京都立多摩職業能力開発センター
東京都昭島市東町3-6-33
多摩地域の中小企業のもつ優れた技術や製品を一堂に展示
(133団体・133ブース)

セミナー

契約書のデジタル化と作成の注意点

-リスクを減らし安全に電子契約をする方法について-

講師：池田 有美 氏

講演時間：13:00~15:00

2/21
[火]

withコロナ・アフターコロナの
企業に必要なDX戦略

講師：伊本 貴士 氏

講演時間：13:00~15:00

2/22
[水]

子供たちがものづくりの楽しさを実感
たまロボットコンテスト

●高校部門
●小中学生部門
詳しくは中巻にて

2/23
[木・祝]

特典

ご来場者プレゼント 当日アンケートにご回答いただいた方に先着で粗品をプレゼント!!

来て!見て!知ろう!多摩の技術力!!

第20回 **たま** 工業交流展



たま工業交流展
公式ホームページ

期間 / 2023年2月21日(火) ▶ 2月22日(水)

会場 / 東京都立多摩職業能力開発センター

(東京都昭島市東町3-6-33)

《ビジネスマッチング》～効率的な商談へのおすすめ

- ・第20回たま工業交流展ホームページ内で出展者の詳細をご覧になれます。(各社ホームページへもリンク)
- ・事前申込で、出展者との商談予約ができます。(マッチングスペースでの商談日時をスケジュール化します)
- ・会場内の商談スペースをご利用できます。(テーブル・椅子あり：事前予約及び当日申込も可能です)

利用時間：2月21日(火)10：00～16：00 / 2月22日(水)10：00～15：00

※ビジネスマッチングのご予約は、第20回たま工業交流展ホームページ内からお申し込みができますので是非ご活用下さい。
申込期限：2023年2月8日(木)

交通のご案内

駅から徒歩

JR青梅線西立川駅より約7分

無料シャトルバス

JR立川駅南口より無料シャトルバスを運行いたします。

行きも帰りもご利用いただけます。

バスの乗降場所については、現地スタッフがご案内いたします。

詳細は「たま工業交流展ホームページ」<https://www.tama-kogyo-koryuten.jp/> をご覧下さい。

※お問合せ：TEL.042-527-2700

※会場には来場者用の駐車場がありません。
会場周辺のコインパーキング(有料)を
ご利用下さい。コインパーキングは
駐車可能台数が限られておりますので、
なるべく公共交通機関をご利用下さい。



主催：たま工業交流展実行委員会

立川市・昭島市・武蔵村山市・羽村市・地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター・公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社・青梅商工会議所・立川商工会議所・東京都商工会連合会・昭島市商工会・武蔵村山市商工会・羽生市商工会・東横町商工会・日野市商工会・あきる野市商工会・羽村市商工会・日の出町商工会・流山商工会・多摩信用金庫・青梅信用金庫・西武信用金庫 計21団体

協賛

経済産業省関東経済産業局・東京都立多摩職業能力開発センター・公益財団法人東京都農林水産振興財団・独立行政法人中小企業振興整備機構関東本部・一般社団法人民間商協会・日本商工会議所・福生市・東横町・日野市・青梅市・東多摩町・あきる野市・橋本町・日の出町・清瀬市・羽村市・公益財団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩・多摩都市モノレール株式会社・学校法人明星学園明星大学・一般社団法人首都圏産業活性化協会・朝日新聞立川支局・毎日新聞多摩支局・東京新聞立川支局・読売新聞東京本社立川支局・産経新聞多摩支局・日本経済新聞多摩支局・時事通信社立川支局・日刊工業新聞社(東京西)

お問合せ 第20回 たま工業交流展事務局 (立川商工会館内) TEL.042-527-2700 <https://www.tama-kogyo-koryuten.jp/>